

舗装用洗い出し基材

施工要領書

施工の前に

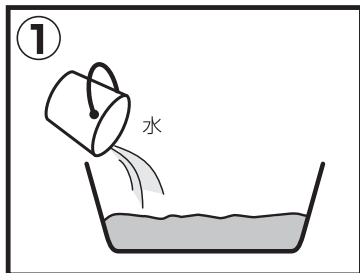
- 周囲は必ず養生してください。付着すると取り除くことが出来ません。
- 施工にあたっては次のものをご用意してください。
 - 容器（舗装用洗い出し基材混練り用）
 - リシンマザール（舗装用洗い出し基材混練り用）
 - ゴム鏝
 - 左官刷毛
 - ウールローラー、ローラーバット、チリトリ
 - スポンジ、ウエス
 - バケツ、タワシ
 - その他左官道具一式

適応下地

- 新設・既設の「リンクストーンM」。
- 「リンクストーンM」に準じるもの（天然石透水性舗装材など）。
 - ※下地には2%程度の排水勾配をつけてください。
 - ※下地は完全に乾燥させてください。リンクストーンMの空隙に水がある場合など、下地が湿っていると本品のハガレ、フクレ、白華、強度不足の原因となります。
 - ※下地のホコリ、ゴミ、レイタンス、油分などは完全に除去してください。
 - ※「リンクストーンM」を新設する場合は、「リンクストーンM」のカタログ・施工要領書を参照して施工してください。また洗い出し工程は、「リンクストーンM」が完全に硬化・乾燥したのを確認した後にとりかかってください。
 - 新設「リンクストーンM」の養生期間/夏場24時間以上(翌日以降)、冬場48時間以上(中1～2日以上)
 - ※滑り止め工法を使用している場合は、ゴム鏝でのかき取り、スポンジやウエスなどでの洗い出しができませんので施工できません。

使用方法

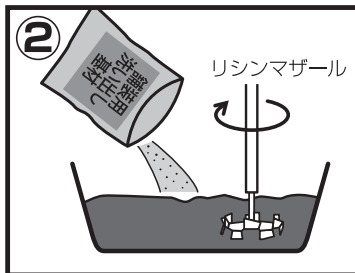
練り方 / 1袋の場合



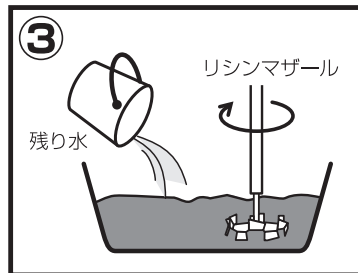
標準加水量: 1.8ℓ/1袋

容器（錆のでないもの）に標準加水量の8割（約1.5ℓ）の水を入れます。

※材料の特性上、粘度が出にくかったりダマが残る場合がありますので、必ず8割の水量から混練りしてください。



次に「舗装用洗出し基材」を投入し、リシンマザールで十分に混練りします。



10分程度練り置きし、残り水（約0.3ℓ）を加えて練り上げます。

※水を加えすぎると色ムラや強度不足の原因となります。

※混練り後の塗材は、徐々に粘度が増してきます。施工時に塗材の粘度が高くなった場合は、加水せずに再度リシンマザールで混合してください。

※混練りした材料は1時間以内に使い切ってください。

施工方法



●ゴム鏝を使用して「リンクストーンM」に流し込みます。リンクストーン内部まで行き渡るように、ゴム鏝で数回叩き込みながら塗布していきます。



●ゴム鏝のヘリを使い、石の表面が現れる程度に余分な材料をかき取ります。

●①②を繰り返しながら作業を進めていきます。

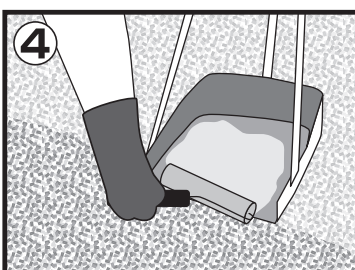
硬化

夏期1時間
冬期2時間

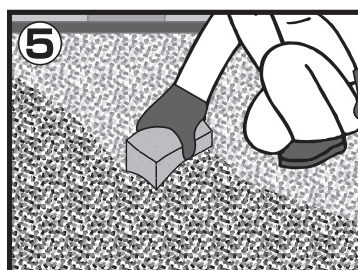
※直射日光下では目安時間より早く硬化します。表面が乾燥し始めた場合は直ちに次の工程を行ってください。



●少量の水を含ませた左官刷毛などで表面をこすりアマを出します。



●次に表面のアマをウールローラーで取り除きます。アマはチリトリなどですくい取ってください。



●残ったアマをスポンジやウエスで完全に拭き取ってください。
●スポンジやウエスに付いたアマは、水で洗浄し、よく絞ってください。
●その後、表面が白く乾燥してきたら、きれいなスポンジやウエスで仕上げ拭きを行ってください。

施工上の注意

- 立ち上がり面には施工できません。
- 夏期炎天下での施工は、「舗装用洗い出し基材」の可使時間が極端に短くなり、またドライアウトなどによる硬化不良や白華の原因となります。気温の低い日陰からか、早朝や夕方などに施工してください。
- 気温10℃以上での施工を標準とします。気温が5℃以下になる場合は、施工を避けてください。硬化不良や白華の原因となります。
- 屋外施工では天候に注意し、降雨、強風時の施工は避けてください。
- 施工後24時間（冬場10℃以下48時間）は立ち入り禁止としてください。また、硬化前に降雨の恐れがある場合には必ず養生を行い、施工面に雨がかからないように注意してください。
- 車の駐車など、重量物の進入には最低3日以上（気温20℃）の養生期間をおいてください。
- 開封した舗装用洗い出し基材は、速やかにご使用ください。開封したままにしておくと、硬化不良の原因となりますので、ご注意ください。
- 本品と天然石を混ぜるだけでは施工できません。必ず新設・既設の「リンクストーンM」など天然石透水性舗装材に流し込んで施工してください。
- 白華が発生した場合、市販の白華除去剤で除去してください。



安全に関するご注意

四国化成の製品の特性を十分にご理解いただき、正しく安全にご使用いただくために、次の事項につきまして、ご遵守願います。

■取扱上の注意

- 目に入った場合には、ただちに清浄な水で最低15分以上洗眼した後に医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、ただちに医師の診断を受けてください。
- 皮ふに付着した場合には、ただちに水で洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 施工後にボンド臭がある場合には、換気を行ってください。
- 作業後は手洗い、うがいをしてください。汚れた作業服は洗濯してください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 空容器の処理は、可燃物・不燃物に仕分けして産業廃棄物業者に依頼してください。残さ・残液（ボンドなど）は下水・河川・池・井戸・地下水などを汚染する恐れのある場所には廃棄しないでください。

〔おことわり〕

- 地震などによって下地に振動が生じると、施工面にクラックなどを起こすことがあります。
- 裸足での歩行は肌を傷つけることがありますので避けてください。
- 舗装面に強く触れると肌を傷つけることがありますので、ご注意ください。

ご不明な点がございましたら、詳細は包材の裏面に記載してありますので、ご覧ください。